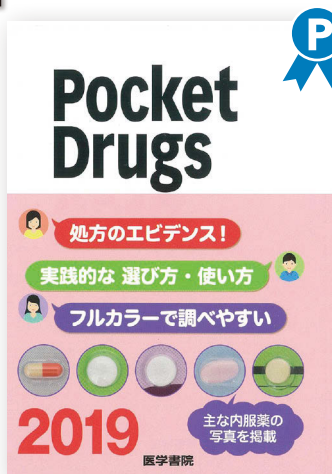




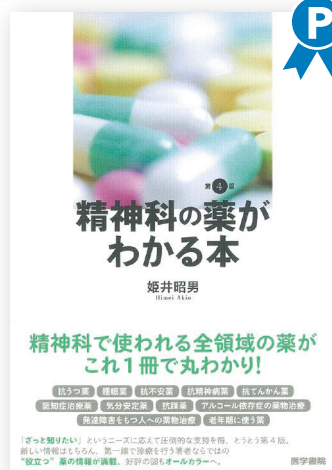
Pocket Drugs 2019

福井次矢＝監修

小松康宏、渡邊裕司＝編

本体 4,200 円＋税／A6 判・1088 頁／医学書院／2019

治療薬を薬効ごとに分類し、その冒頭に第一線で活躍する医師による「臨床解説」を掲載。「薬剤情報」では「選び方・使い方」、薬剤選択・使用時の「エビデンス」をコンパクトに解説。目的の情報がすぐに見つかるフルカラー印刷で、主要な薬剤は製剤写真も掲載した。臨床現場で本当に必要な情報をまとめた 1 冊。2019 年版では、服薬による尿や便の色調変化、保存状態に注意する薬剤などを追加。コンパクトなサイズのまま、さらに充実。



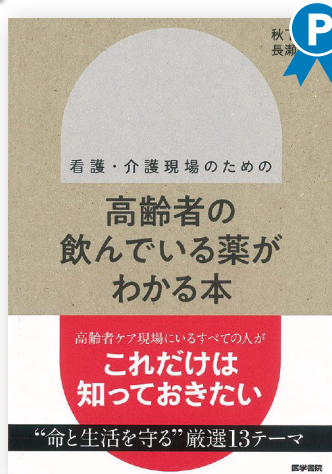
精神科の薬がわかる本

第 4 版

姫井昭男＝著

本体 2,200 円＋税／A5 判・228 頁／医学書院／2019

好評定番書の内容改訂＆オールカラー化！「精神科の薬を取り巻く環境の変化や新薬を、著者の臨床実践を基に追加」というコンセプトはそのままに、よりわかりやすく見やすく紙面を刷新。この 10 年、精神科受診のハードルは格段に下がった。社会背景とともに変わっていく薬の評価や役割。氾濫する情報にまどわされないためにも、精神科の薬に関わるすべての人が手元に置きたい 1 冊。



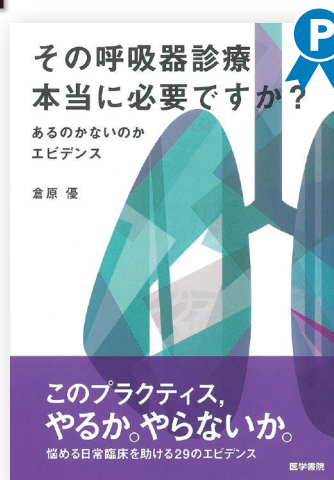
看護・介護現場のための

高齢者の飲んでる薬がわかる本

秋下雅弘、長瀬亜岐＝著

本体 2,200 円＋税／A5 判・208 頁／医学書院／2018

「なぜ薬で尿閉？」「鎮痛薬で腸管穿孔？」「食べられていないのに薬がこんなに……多すぎない？」。「フタを開けてみれば、なんと薬が原因だった」という高齢者ならではのアクシデント事例をベースに、「なぜこんなことにどうすればいいか」をプラクティカルかつ平易に解説。高齢者ケア現場にいるすべての人が知っておきたい、「命と生活を守る」厳選 13 テーマ。看護・介護現場でもポリファーマシー対策 (p.360) が始まった！



その呼吸器診療 本当に必要ですか?

あるのかないのかエビデンス

倉原 優=著

本体 4,200 円+税/A5 判・336 頁/医学書院/2019

呼吸器領域の日常臨床で、正論だと思われている診療の常識に対し、果たしてその診療は本当に必要なものなのか、ひょっとしたら不要ではないのかといったグレーゾーンの 29 テーマをピックアップして、著者独自の切り口で論を展開する。エビデンスに基づき、終末期医療などさまざまな意見が共存するテーマについても現状の知見やデータを提示。臨床現場で悩める若手呼吸器科医やレジデント、ジェネラリストに向け、今後の診療において進むべき道筋を照らす 1 冊。